

山 梨 県 気 象 旬 報

令和8年9月 上旬

甲 府 地 方 気 象 台

令和8年9月11日発行

【天気概況】

この期間の天気は、前線が本州から伊豆諸島付近に停滞し、曇や雨の日が多く、6日、8日は大雨となりました。

甲府の旬平均気温は低く、旬間日照時間はかなり少なく、旬降水量はかなり多くなりました。

【旬の値】

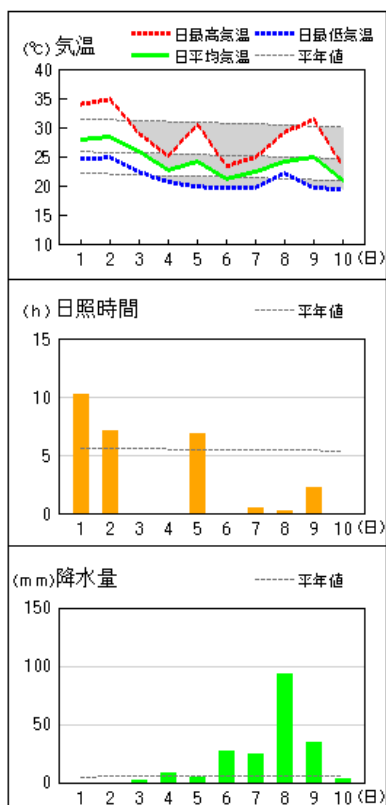
	気温 (°C)			日照 (h)			降水量 (mm)		
	実況値	平年値	階級	実況値	平年値	階級	実況値	平年値	階級
甲府	24.2	25.3	低い	27.0	56.3	かなり少ない	197.5	53.5	かなり多い
河口湖	20.2	20.8	低い	17.5	45.2	かなり少ない	243.0	90.5	多い

【日毎の概況】

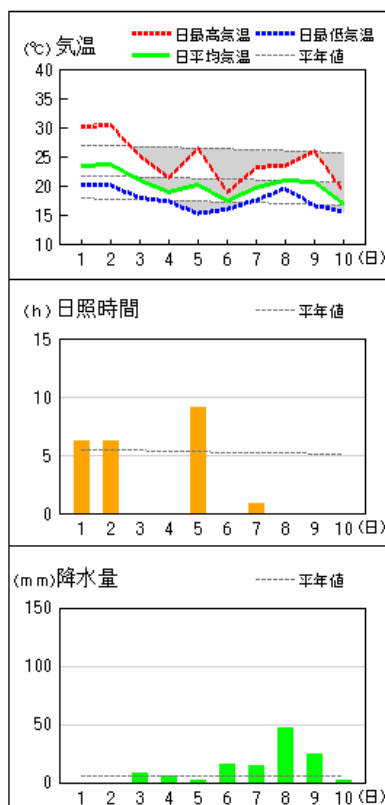
	昼 (06h00m～18h00m)	夜 (18h00m～翌06h00m)
1日	晴時々曇	曇後一時晴
2日	晴時々曇	曇一時晴後時々雨
3日	曇後時々雨	雨時々曇
4日	雨時々曇	雨後一時曇
5日	曇時々晴	曇
6日	雨時々曇	大雨
7日	雨時々曇	雨後時々曇
8日	曇時々大雨	大雨
9日	曇時々雨	雨時々曇
10日	曇時々雨	雨時々曇

アメダス 気象経過図：2026年09月01日-2026年09月10日

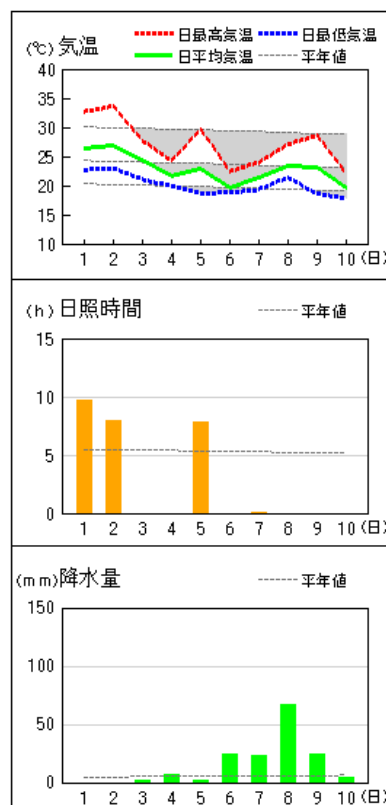
甲府



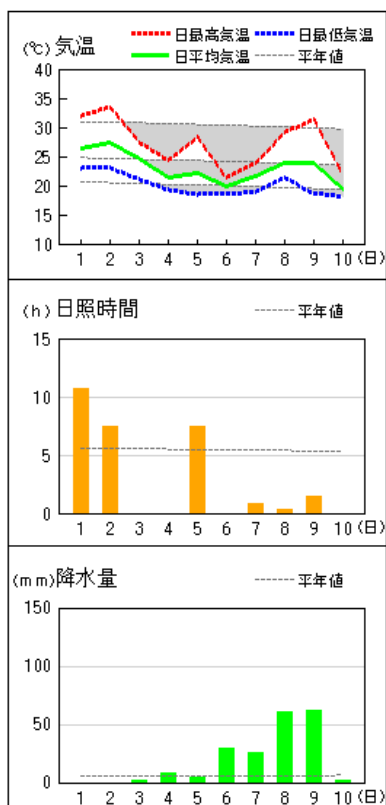
大泉



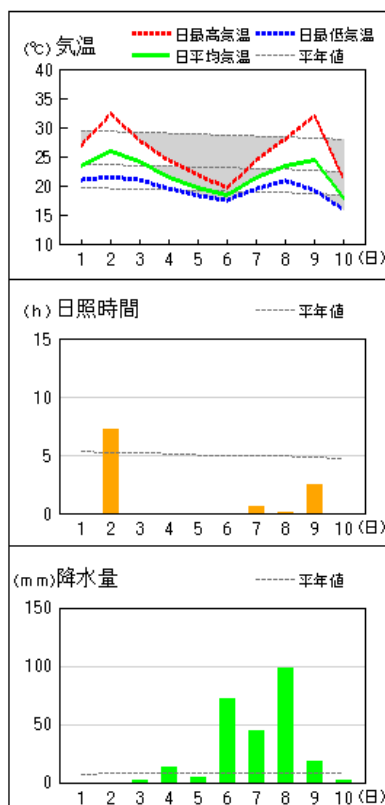
韮崎



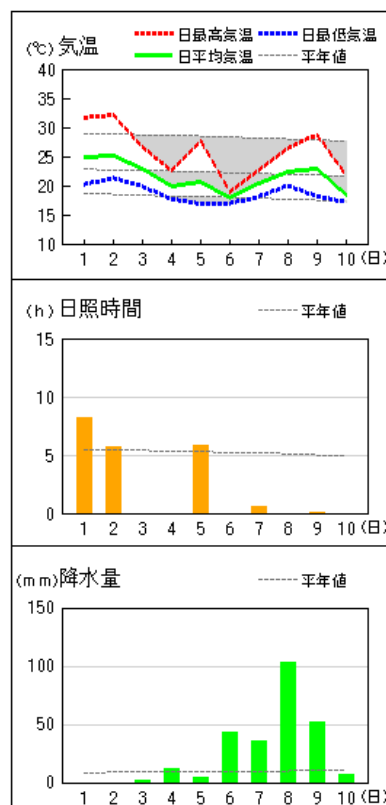
勝沼



大月



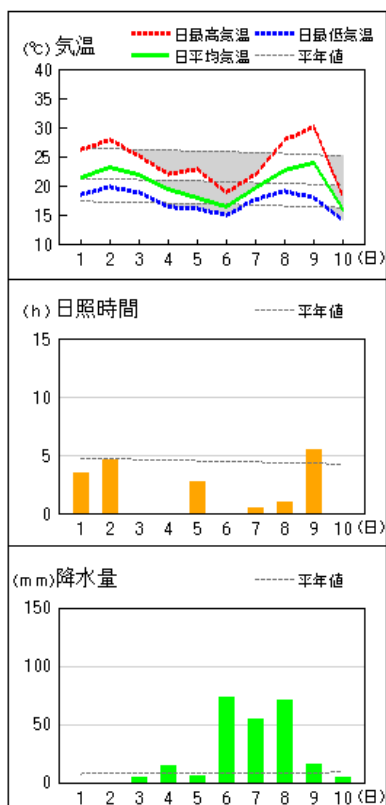
古閑



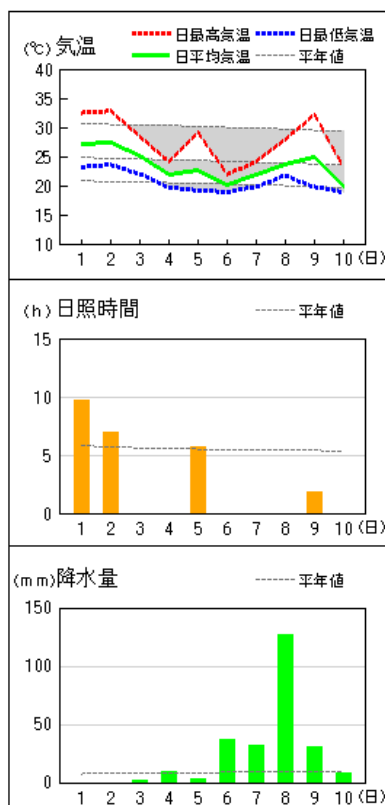
(注) 甲府・河口湖以外における観測地点の日照時間値は推計気象分布（日照時間）の推計値。
 平年値は推計値へ補正した値を使用しています。

アメダス 気象経過図：2026年09月01日-2026年09月10日

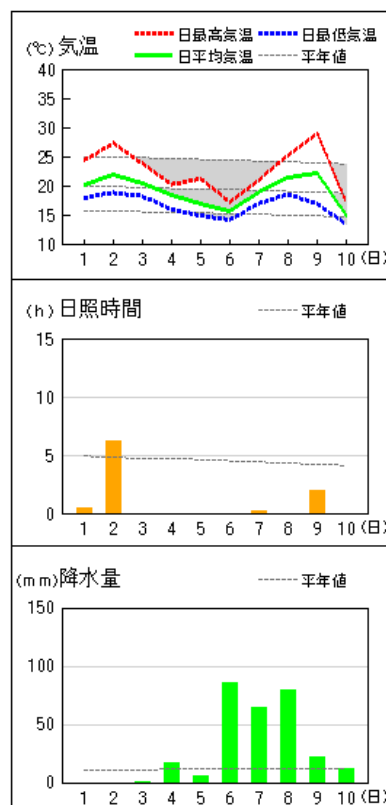
河口湖



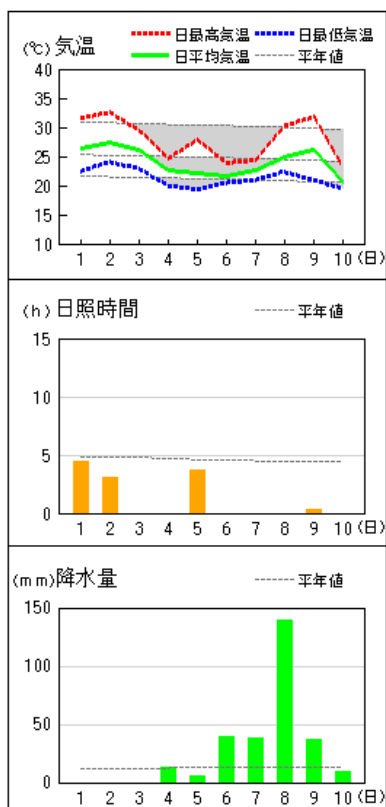
切石



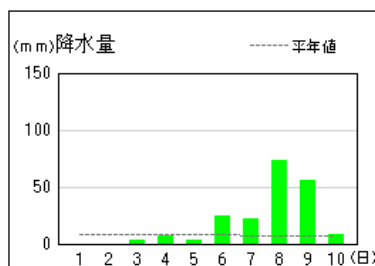
山中



南部



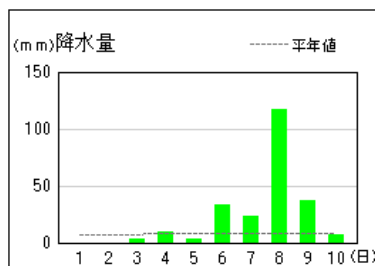
乙女湖



上野原

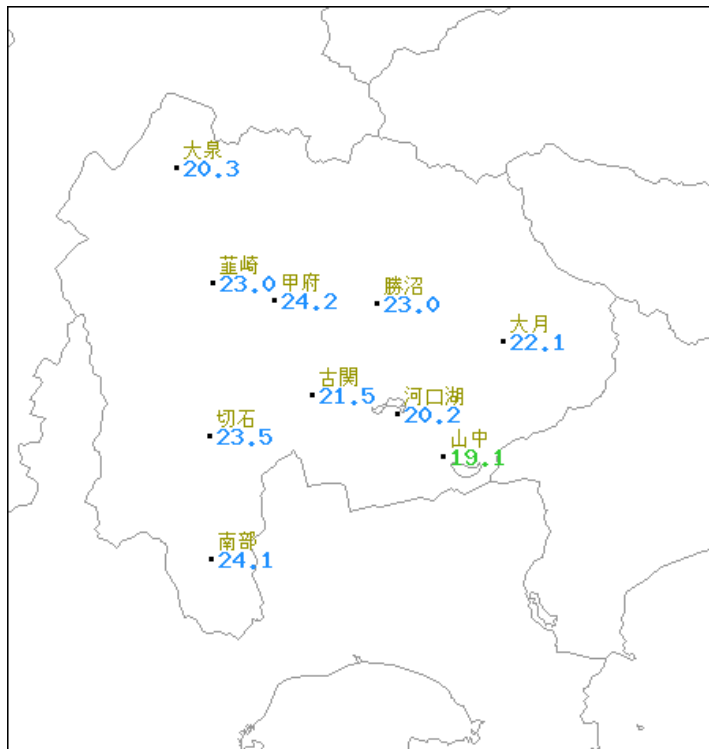


富士川



（注）甲府・河口湖以外における観測地点の日照時間値は推計気象分布（日照時間）の推計値。
 平年値は推計値へ補正した値を使用しています。

平均気温 (°C)



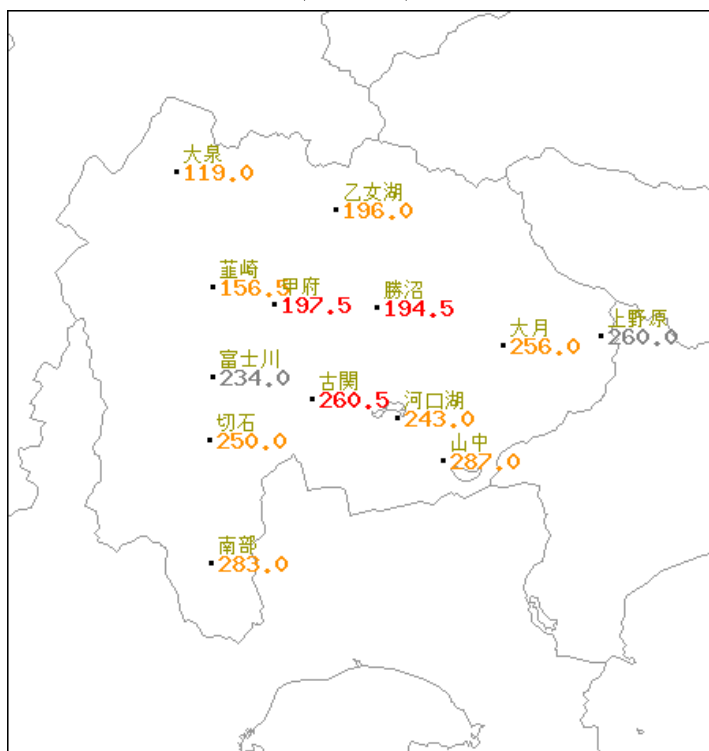
地点名	実況値	平年値	平年差
大泉	20.3	21.2	-0.9
葦崎	23.0	23.8	-0.8
甲府	24.2	25.3	-1.1
勝沼	23.0	24.3	-1.3
大月	22.1	23.2	-1.1
古関	21.5	22.4	-0.9
切石	23.5	24.3	-0.8
河口湖	20.2	20.8	-0.6
山中	19.1	19.5	-0.4
南部	24.1	24.8	-0.7

階級区分

かなり低い 低い 平年並 高い かなり高い 欠測等

記号	統計値区分
D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	欠測
//	平年値なし

降水量 (mm)



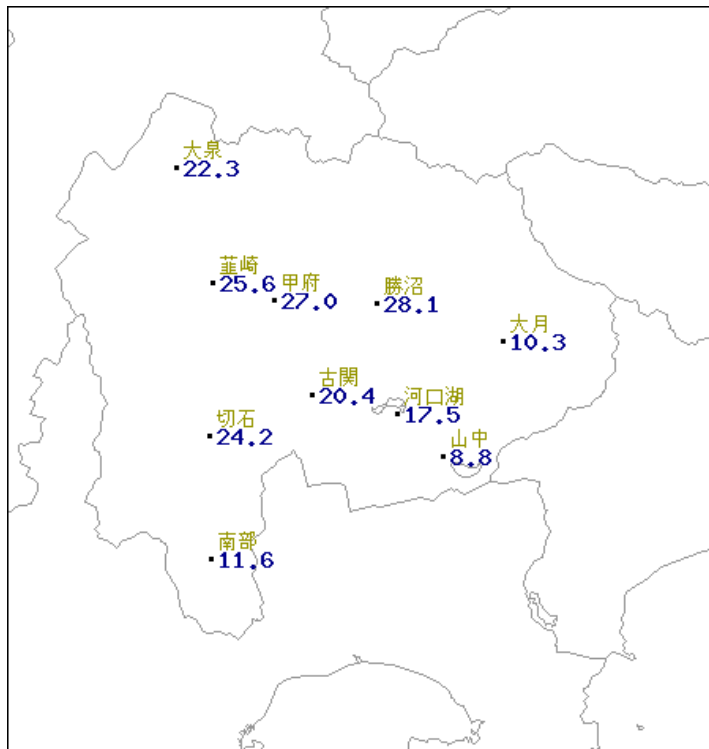
地点名	実況値	平年値	平年比(%)
大泉	119.0	51.8	230
乙女湖	196.0	91.1	215
葦崎	156.5	54.3	288
甲府	197.5	53.5	369
勝沼	194.5	60.9	319
大月	256.0	86.8	295
上野原	260.0	//	//
富士川	234.0	102.2	229
古関	260.5	97.3	268
切石	250.0	89.7	279
河口湖	243.0	90.5	269
山中	287.0	121.9	235
南部	283.0	136.0	208

階級区分

かなり少ない 少ない 平年並 多い かなり多い 欠測等

記号	統計値区分
D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	欠測
//	平年値なし

■ 日照時間 (h)



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
大泉	22.3	53.2	42
葦崎	25.6	54.2	47
甲府	27.0	56.3	48
勝沼	28.1	55.9	50
大月	10.3	50.8	20
古関	20.4	53.8	38
切石	24.2	55.9	43
河口湖	17.5	45.2	39
山中	8.8	45.1	20
南部	11.6	46.3	25

階級区分

かなり少ない
 少ない
 平年並
 多い
 かなり多い
 欠測等

記号	統計値区分
D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	欠測
//	平年値なし

モモせん孔^{こう}細菌病の防除を徹底しましょう

今年のモモせん孔細菌病の発生は、生産者の適切な防除対応により、極めて少なく、果実への被害はほとんどありませんでした。

しかし、今後、台風などの風雨により、新しい枝にできた傷や落葉の^{あと}痕から感染した病原菌が来年の発生源となり、再び被害が広がる可能性があります。

今年被害がなかった地域やほ場でもこの秋の防除を徹底する必要があります。

病斑のある枝は取り除き、ほ場から持ち出すとともに、薬剤での防除は、9月中旬から10月上旬の間に、おおむね2週間間隔で2回、被害が大きかった地域では3回行ってください。薬剤は、I Cボルドー412の30倍液、または、4-12式ボルドー液を用い、樹の全体に十分散布してください。

住宅に隣接するほ場などでは、ムッシュボルドーDF500倍液にクレフロンを100倍となるよう加えて散布を行ってください。

なお、防除効果を高めるため、地域で一斉防除を行うとともに薬液の散布ムラをなくすため、徒長した枝や不要な枝は、防除前に取り除いてください。

また、感染してしまうと防除効果が劣るので、風雨が予想される前の散布が効果的になります。

防除の詳細は、最寄りのJAや県の普及センターにお問い合わせください。

掲載している観測データ

観測値や統計値の定義は「気象観測統計指針」に準拠しています。詳しくは気象庁ホームページの「気象観測統計の解説」のページに掲載しています。

■ホームページのご案内

農業気象災害 … 山梨県ホームページ（農業気象災害に係るマニュアル・資料等）
<https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kisyousaigai.html>

気象庁ホームページ … 季節予報など
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

過去の気象データ検索 … 観測値・統計値
<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/>

気象観測統計の解説 … 観測値・統計値の定義
<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/kaisetu/>

－ 利用上の注意 －

この資料は速報値です。後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。その他、利用上の留意事項については、気象庁ホームページの利用規約(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/coment.html>)に準拠します。